

2.新市のまちづくり方針

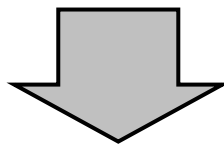
(1) 各分野の課題と基本方針

1) 産業の振興

【課題】

農林業においては、兼業化や高齢化による担い手不足が深刻化する中、農地や森林の保全や適正な管理が求められています。商工業においては、消費者ニーズが多様化する中、地域に根付いた経営や人材の育成などが求められています。

また、既存産業の集積を活かし、新たに立地した液晶産業との連携による地域経済の活性化や、それらの立地を契機として多様な産業の進出を促進し、雇用の場を確保することが必要です。



【基本方針】

豊かで活力ある地域を目指し、既存産業の活性化支援をはじめ、新たに立地した液晶産業を活かした関連産業の集積や既存産業との連携による産業振興を県とともに推進するなど、若者をはじめ幅広い世代に対応できる雇用の場の拡大を図ります。

農林業では、農地や森林の保全や適正な管理を図るため、経営能力の拡大や担い手を育成するとともに、生産者と消費者の交流による地産地消¹の拡大を図ります。

商工業では、歴史的な町並みと融合した商店や地域の身近なコミュニティビジネスの展開、地域資源を活かした集客交流産業や健康産業²の展開、若者や企業からの独立者などの起業支援などを図ります。

1 地産地消

「地元で生産されたものを地元で消費する」という意味で、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解や信頼を深める取組みとして期待されている。

2 健康産業

健康食品、健康機器、オーガニック（有機・無農薬）スポーツ・フィットネス機器、未病・予防医学などの分野に関する産業。高齢社会の到来で飛躍的な成長が期待できる産業といわれている。



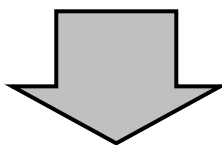
2) 教育・文化の充実

【課題】

魅力的で活力あふれる地域となるために、創造性に富んだ心豊かな人材を育てていく必要があります。また、社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいを求める人々が増えています。

そのため、個性を尊重し、創造力を伸ばす教育を進めるとともに、新市の将来を支える人づくりを学校・家庭・地域が一体となって進めていくことが課題です。また、市民が意欲的に学習やボランティア活動などに取り組むことができる環境づくりが必要です。

一方、地域にある貴重な歴史・文化的資源の継承を図り、市民が地域に誇りを感じることができるようにすることも重要です。



【基本方針】

社会構造が変化する中で、人と人々が文化や自然にいそしみ生きがいと夢のある地域社会づくりが求められています。このため、思いやりと人間としての尊厳を基盤とした人権教育の推進と生活文化の向上を図るために、各年齢層に応じた多様な生涯にわたる教育、学習機会の充実などが必要です。

学校教育については、「ゆとり」と「思いやり」のある教育や、地域の自然や歴史文化をテーマにした教育、子どもの個性を生かした教育を進めます。このため、学校・家庭・地域が有機的な連携を形成し、教育機能をより一層充実していきます。

また、地域の枠を越えて市民が連携して、次代を担う青少年の健全な育成や、地域の文化や伝統芸能などの継承、さらに新たな活動による芸術、文化の創造に努めます。

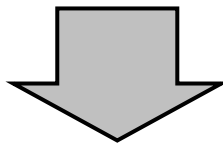


3) 健康福祉の充実

【課 題】

進行する少子高齢化に対応して、高齢者が元気に暮らすことができるよう生涯にわたる生きがいや健康づくりを支援することや、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりが課題です。

また、地域住民の相互扶助により形成される地域づくりが重要です。そして、このような地域福祉を市民や行政などが一体となって、地域で支えていくことが求められています。



【基本方針】

新市の人口構成をみると、出生率の低下による年少人口の減少と平均寿命の伸長に伴う高齢化及び核家族化など、社会構造の変化が見られます。これらに対応して、支え合い社会の実現など市民と協働した新たな社会システムの整備が求められます。このため、少子高齢化を地域の問題として捉え、高齢者、障害者対策及び子育てのための環境向上とともに、住宅対策、雇用の創出、移動手段の確保、生涯学習の推進と一体となった施策を進めます。

また、保健・福祉・医療が一体となり、情報の一元化を図り、きめ細かな思いやりのあるサービスを目指すとともに、絶えず利用者のニーズを反映してサービス内容の改善を図ります。一方、健康づくりと生涯学習・生涯スポーツを一体として推進し、元気な高齢者に生きがいづくりの多様な機会を提供します。



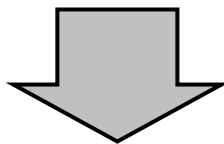
4) 生活基盤の充実

【課 題】

市民にとって利便性が高い交通ネットワークを確立することや、下水道などの生活基盤を整備することが課題です。

また、若者や他地域から就業する人が住み続けたいとなるような、魅力的で快適な生活空間を創造するため、豊かな自然や歴史的町並みなど、各地区の特色や魅力を活かした多様な居住環境を保全・形成していくことが必要です。

さらに、交通弱者の社会参加を支援する移動手段の確保や施設の整備、防災対策や防犯対策を十分に施した安全で安心して暮らすことができる環境づくりが必要です。



【基本方針】

新市は、恵まれた自然や歴史・文化などの地域資源を共有しています。これらを活かし、「うるおい」や「ゆとり」が感じられる住環境を形成するとともに、都市基盤の整備が重要となってきます。そのため、新市においては、特性を活かした町並み保存や秩序ある土地利用の推進、市民参画の拡大や活動の推進を図ります。また、高齢者をはじめとする全ての人にやさしいまちづくりのあり方を取り入れながら、身近な交通手段の確保や生活道路等の整備、公園の整備、公共施設の整備・改善を図ります。さらに、下水道などの環境整備を進め、若者の定住対策と併せて民間による質の高い住宅・宅地の供給を促進し、JR 各駅周辺についても地域住民とともに交通結節などをはじめとする都市機能の充実を目指します。

一方、広範囲な災害に対応するため、広域的な連携体制や都市間の協力体制をつくと同時に地域の安全性を高めるため消防機能の強化や救急業務体制の強化を図るとともに市民参画による防災・防犯体制を進めます。



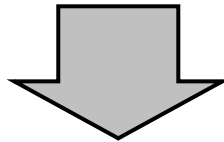
5) 環境にやさしい社会の形成

【課題】

鈴鹿山系や鈴鹿川水系などの豊かな自然を守るため市民意識の高揚を図ることにより、森林や河川などの豊かな環境を維持して、飲料水となる地下水の水質を保全するとともにこれらの資源を市民のいやしと交流の場として活用していくことが求められています。

また、ごみの減量・再資源化、自然エネルギーの活用を図るため、企業間の連携や市民自らが省エネ・省資源に取り組むことができるよう啓発を行う必要があります。

さらに、新たな開発にあたっては、環境に十分配慮しながら地域が持つ自然や特性を保全する必要があります。



【基本方針】

新市が有する鈴鹿山系や鈴鹿川水系などの貴重な自然資源を維持するとともに、自然とふれあい、親しむことができる環境づくりや環境美化に、市民や企業と協働して取り組む体制を進めます。

また、家庭や企業それぞれの理解と努力により、一体化した省エネ・省資源に取り組む循環型社会を形成します。このため、家庭へは排出するごみの減量化、分別、リサイクル等をより一層進めることや、企業へ ISO14001 の認証取得や廃棄物の再資源化の取り組み等を促進していきます。

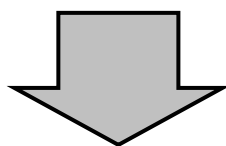


6) 情報化と地域自治の推進

【課題】

社会経済の変化や市民ニーズの多様化・高度化や、分権型社会³の進展、厳しい財政状況などに対応するために、行政の効率的な運営による財政力の強化や、政策立案能力の向上を図ることが課題です。

また、市民の自治意識を高めるとともに、それぞれの地域が自主的にまちづくりを進めるため、行政と市民が役割をお互いに認識しながら地域づくりができるシステムを確立することが課題です。



【基本方針】

亀山市・関町では共同してテレトピア基本計画⁴を策定し、亀山市では、ケーブルテレビ網を活用した行政情報番組（コミュニティ情報システム）など情報化社会への対応を進めています。今後も市民生活の利便性を高めるために、市民生活を支援する地域情報化を進めます。

一方、成熟社会においては、市民自らが自治意識を高め、積極的に自治活動に参画することが重要です。このため行政も市民参画を基本とした行政運営を推進するとともに、情報化への対応を深め、市民との情報の共有化に努めます。

さらに、コミュニティにおける心のふれあいや活力づくりを大切にするとともに、地域が自己責任に基づいて主体的に地域づくりを行う地域内分権⁵のしくみづくりを進めます。



3 分権型社会

国の許認可などの関与や規制が少なくなり、個々の地方自治体が、それぞれの地域の実情や住民ニーズに応じた、きめ細かで多様な行政を推進することができる社会。

4 テレトピア基本計画

ケーブルテレビ等の高度情報通信メディアを活用した、地域の情報化のための基本指針や実行プログラムをまとめた計画。

5 地域内分権

市町村などにおける住民自治の充実や行政と住民との協働を推進するため、一定区域を単位とした組織が地域自治を実施すること。

(2) 新市の広域的な役割と地域整備の方針

1) 新市の広域的な役割

広域的な都市連携の構想

新市は、周辺都市と連携して市民生活の向上を図るとともに、文化・生活・産業の交流の場としての役割を果たしていきます。

[伊勢湾岸の近接都市（鈴鹿市、津市など）]

新市は、鈴鹿市、津市などと市民の通勤・通学、通院、買い物などの生活圏として連携した都市づくりを進めます。また、豊かな自然環境の保全や防災対策を進めて、安心して生活することができる地域づくりを目指すとともに、新市は、旧東海道などの宿場町の再生と活用をリードし、これを活かした交流を進めます。

一方、産業面では、新市の液晶産業など産業集積を活用して、周辺の既存産業と新規産業の連携から高度な研究開発までの交流を促し、クリスタルバレー構想⁶の役割を担います。

[名古屋圏]

新市は、名古屋圏と一つの経済圏として交流があり、今後さらに高速道路にアクセスする広域幹線道路を強化し、通勤の利便性や多様な都市機能を活用していきます。

また、都市圏の住民に、新市の優れた歴史文化や豊かな自然をレクリエーションの場として提供します。

さらに、産業面では名古屋圏の高い技術力を新市の産業にも活かすとともに、他の経済圏や世界との結節点である四日市港、名古屋港、中部国際空港との連携軸の強化を図ります。

[伊賀地域・関西圏]

伊賀地域と関西圏とは、名阪国道や西名阪自動車道、国道1号を通じて、更なる人、ものの交流を活発に行い、また、名古屋圏との連結役を担います。

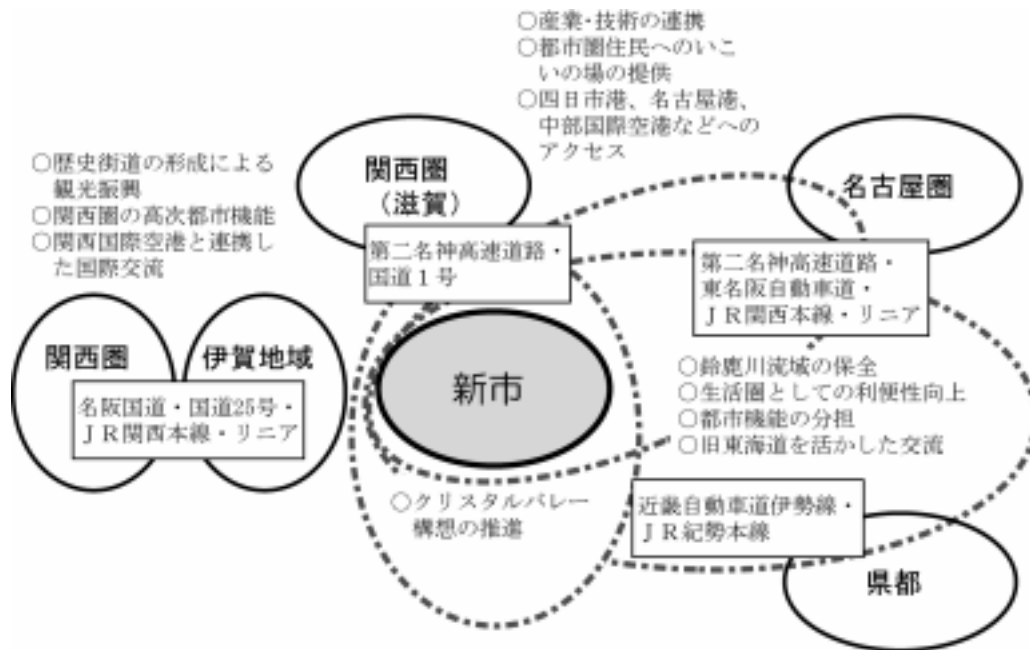
また、旧東海道、大和街道により育まれた歴史文化、再生・活用する歴史街道を形成し、新市の観光振興を図ります。

さらに、関西文化・学術研究都市などとの交流により、産業技術の向上を図ります。

6 クリスタルバレー構想

県の産業を国際競争に打ち勝てる多様で強靱な構造に創りあげることを目的とし、液晶をはじめとするフラットパネルディスプレイ産業の世界的集積地の構築を目指す、産学官の協働による県の取り組み。

図 広域的な都市連携の方向



交通ネットワークの整備

新市の骨格となる交通ネットワークは、市内の各地域を結ぶとともに快適な移動を確保することを目指すとともに、新市が活用しやすい高速交通ネットワークの形成を展望します。

[市内を結ぶ生活幹線道路の整備]

市内の各地域間を結ぶ生活関連道路の整備とともに、市内及び都市間の軸となる幹線道路として、国道1号、国道25号、国道306号や県道、フラワーロードの整備を促進します。これらを活用して、市内の各地域間を結ぶ亀山中心市街地を取り巻く二本の環状道路、関中心市街地を取り巻く環状道路ネットワークを形成します。

[鉄道・バス等ネットワークの充実]

J R関西本線と紀勢本線の整備と利便性の向上を働きかけるとともに、J R亀山駅と関駅との連絡強化を促進します。また、新市の玄関口となるJ R亀山駅やその他の各駅を拠点として、住民生活の利便性向上のため、新市の実情に即した交通システムを構築します。

[高速交通体系の整備]

東名阪自動車道と近畿自動車道伊勢線の直結線の供用並びに、第二名神高速道路と東名阪自動車道の渡り線及び国道1号関バイパス、鈴鹿亀山道路の整備を働きかけます。また、高速バス路線の充実とJ R亀山駅への乗り入れを事業者へ要望するとともに、中部国際空港へ直結するルートの開設も働きかけます。

2) 地域整備の方針

新市の土地利用は、優れた自然環境や優良な農地の保全・活用を行い環境共生型の都市形成を進めるものとします。これを基盤として、快適に居住することができ、様々な都市活動や交流を行いやすい土地利用を目指します。

その骨格として、ゾーンの整備と、それを活用する軸づくりについて示します。

自然レクリエーションゾーン

新市の西部は、優れた自然環境を保全しながら、自然と共生する活用を進めます。鈴鹿山系とその周辺においては、自然レクリエーションゾーンとして、いやし、自然体験や交流の場としての活用を図ります。

新市の南西部に位置する錫丈ヶ岳を中心とした地域は、緑保全エリアとして、ふれあいの場や環境保全を進めます。

農地・田園居住ゾーン

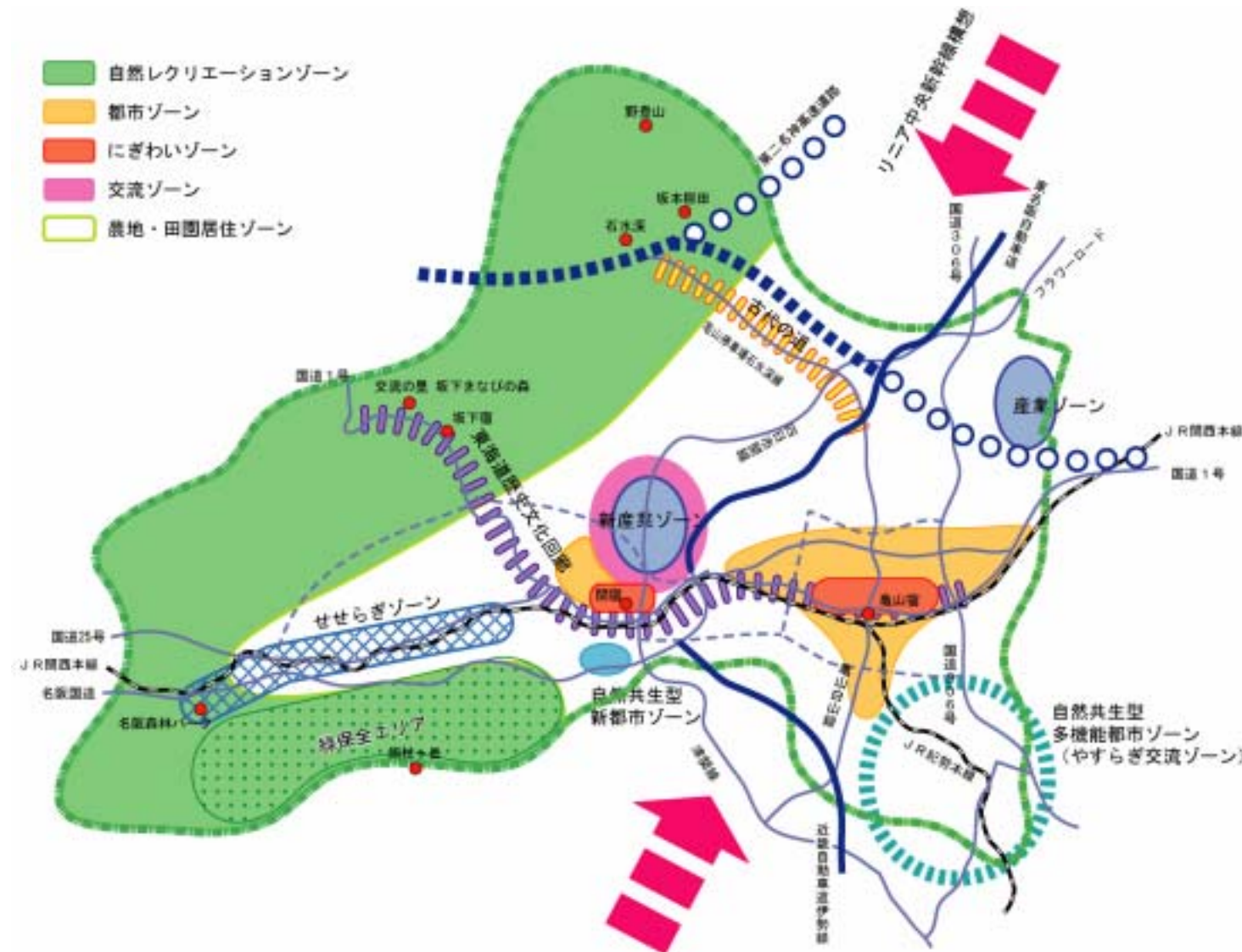
優良農地を中心として、亀山茶や亀山和牛などの高付加価値農業⁷を展開するとともに、消費者と生産者の交流の場としての活用を図ります。また、集落においては、暮らしやすいように生活基盤の整備を図るとともに、良好な生活環境の向上を図ります。

都市ゾーン

にぎわいゾーンの周辺では、行政、教育、医療・福祉などの多機能が集積する活力ある市街地を形成し、良好な住環境を保つ住宅地域を形成します。

せせらぎゾーン

鈴鹿山系を源流にもつ鈴鹿川支川の加太川沿いに、川に親しむことができる交流といやしの場を形成して、自然とのつながりを大切にします。



新産業ゾーン・産業ゾーン

名阪亀山・関工業団地及び亀山・関テクノヒルズへの産業集積により、三重県クリスタルバレー構想の中心的な役割を担う新産業ゾーンを形成して、県土の振興に結びつく拠点づくりを進めます。新市東部の既存の工業地域は、産業ゾーンとして、新産業ゾーンと連携した産業基盤の充実を図ります。

交流ゾーン

新産業ゾーンの周辺においては、亀山サンシャインパークや里山、文化財などを活かした環境教育の場や、訪れる人々に新市の情報を提供する交流の場を形成します。

にぎわいゾーン

旧東海道の関宿、亀山宿においては、宿場町、城下町を中心とした歴史文化を活かした観光・交流の場として活性化を図ります。また、亀山宿においては、コミュニティ性豊かな商業機能の整備、関宿においては地域の日常生活と調和した観光の振興を図ります。

自然共生型多機能都市ゾーン

新市の南部地域を自然共生型の新都市ゾーンとして、里山などの自然や文化と共生する都市の形成を図ります。新市南東部地域を自然共生型の多機能都市ゾーンとして、周辺環境の整備ならびに、新市における新都市開発整備の需要に対応した、自然の中でやすらぐことができる自然共生型の都市づくりを構想します。

軸の形成

東海道歴史文化回廊

亀山宿、関宿で形成するにぎわいゾーンを核として、坂下から井田川に至る旧東海道において、歴史資源を活かして一体性を創出します。

古代の道

古代のロマンを彷彿させる日本武尊白鳥伝説の地として安楽川沿いを整備して、新市のイメージアップや交流の場として活用します。

⁷ 高付加価値農業

施設栽培などの生産技術や加工流通など様々な過程で価値を付加することで、利益性を高める農業。